

「戦争を超え、和解へ」
諸宗教平和円卓会議 第2回東京平和円卓会議
2024年2月18-22日
日本・東京

コンセプトノート

背景

私たちの共通の家に対する無数の脅威を背にして、国際社会は蔓延する不安感に悩まされている。これは国連報告にあるように第二次世界大戦以降、現在進行中の暴力的紛争が最も多く発生していることに起因する。現在、世界のあらゆる地域で、平和と安全の基盤が脅かされている。アフガニスタン、コロンビア、エチオピア、イスラエル、ガザとヨルダン川西岸地域、ミャンマー、ウクライナで同時に起こっている武力紛争は、数多くの脅威の中でも特に恐ろしいものとなっている。

諸宗教組織と多様な宗教指導者が主導する平和構築活動には、新たなアプローチやこれまでのアプローチの刷新が緊急に必要であることは、依然として重要かつ明確な課題となっている。第2回東京平和円卓会議では、こうした新たなアプローチやアプローチの刷新、諸宗教の具体的な活動例に焦点を当てる。

世界の人道支援へのニーズは記録的な水準に達している。世界中で3億6,000万人以上が人道支援を必要としており、そのうち1億1,000万人以上が迫害、暴力的紛争、人権侵害などにより、強制的に避難させられている。「物言えぬ犠牲者」である女性、子ども、社会から疎外された人々は砲火に巻き込まれ、不当に権利を奪われ、重大な人権侵害の影響を受けている。

平和と安全保障、持続可能な開発、そして人権に対するグローバルな課題に取り組むには、信仰、文化、民族、カテゴリーを超えた継続的な協力が必要である。このような状況において、すべての宗教・信仰の伝統は、信者たちに向けて、すべての人々と地球の共通善のために協力することを呼びかけている。社会基盤を支える柱として、また変革の重要な担い手として、宗教・信仰の関係者、政策立案者、政府および政府間組織は、和解を促進し、平和・安全保障・人間の尊厳のための基盤を構築（再構築）する上で、互いの持てる能力や取り組みの情報を伝え、強化することができやすい立場にある。

このような認識の下、WCRP/RfP (Religions for Peace) は「戦争を超え和解へ：諸宗教平和円卓会議」を立ち上げた。この円卓会議は、戦時と平時の両方にさまざまなコミュニティで共に奉仕した経験のある諸宗教指導者を、政策立案者とともに招集するものである。2022年9月に開催された第1回東京平和円卓会議では、エチオピア、ミャンマー、南スーダン、ロシア、ウクライナなど、紛争状態にある国々の宗教指導者のために「安全なスペース」が用意され、互いを鼓舞し支え合い、より平和で公正かつ包括的な社会の実現に向けて、社会的分断への癒し、トラウマからの修復、赦しと和解の醸成が促進された。

第2回東京平和円卓会議

以上のことを基盤として、WCRP/RfP 国際委員会と WCRP 日本委員会は、国連文明の同盟 (UNAOC) と協働し、多様な宗教・信仰の指導者や関係者、政策立案者、専門家を招集して2024年2月19~21日に、東京で第2回東京平和円卓会議を開催する。第2回会議は、特に第1回会議での指導者たちによって合意された声明に基づいて行われる：

1. **コミットメント**：癒しと赦しの必要性、およびその憲章に基づき、暴力の連鎖の再発を防ぐため、すべての関係者が長期的な和解のプロセスに取り組むこと。
2. **継続**：諸宗教平和円卓会議を継続し、紛争のすべての側面から宗教指導者を招集し、知恵を共有し、諸宗教間の協力と平和を構築すること。
3. **認識**：私たちすべてが、人間の命の神聖さとすべての人々への愛を育み続けることが不可欠であると認めること。

世界で最も歴史があり、最も代表的な諸宗教指導者のプラットフォームである WCRP/RfP は、50 年以上にわたり、約 100 カ国で諸宗教評議会、女性宗教者および諸宗教青年ネットワークを通じて、調停活動、諸宗教間の対話と協力、そして諸宗教による重要な支援の提供を行ってきた。世界中で WCRP/RfP 運動の宗教・信仰指導者たちは、互いに協力し合うだけでなく、宗教に関係のない市民社会組織、政策立案者、政府および政府間組織とも共通の行動を推進している。

目的と成果

WCRP/RfP 国際委員会と WCRP 日本委員会は、国連文明の同盟 (UNAOC) と協働して、多様な宗教・信仰指導者や関係者を、宗教に関係のない政策立案者や専門家とともに招集し、以下のことを行う：

- i. 紛争地や人道的状況において、多様な宗教伝統の指導者が、共に取り組みを行う中で果たすことのできる具体的な役割を認識し、評価する。
- ii. 諸宗教プラットフォーム（諸宗教評議会を含む）が、和解と社会的結束の再構築のために採用した様々な戦略を見出し、精査する。
- iii. 多様な状況下で提供された諸宗教人道支援の独自の貢献と、そのような人道支援活動が社会的結束力の（再）構築にどのように貢献するかについて学んだ教訓を評価する。

結果として、第2回東京平和円卓会議は以下のことに直接的な貢献につながることを期待される：

- i. 平和構築活動にむけて、諸宗教指導者や世俗の指導者、政策立案者の間で、複数開催や開催規模の変更も可能な安全なスペースを提供する。
- ii. 諸宗教の行動が、平和で包括的な社会の再建・復興に向けた政策立案者の取り組みにどのようにプラスの影響を与えるかについて、明確に理解を深める。
- iii. 多様な宗教指導者間、また宗教者と宗教に関係のない政策立案者や平和構築者間の連帯、取り組み、信頼の絆を強める。

関連リンク（英語）

第1回東京平和円卓会議資料（2022年）

- [Press Release for the First Tokyo Peace Roundtable \(2022\)](#)
- [Report of the First Tokyo Peace Roundtable \(2022\)](#)
- [Statement from the First Tokyo Peace Roundtable \(2022\)](#)

WCRP/RfP (*Religions for Peace*) に関する出版物と資料

- [Religions for Peace 2022 Annual Report](#)
- [Religions for Peace: The Global Movement Through Impact](#)
- [Faithful Peace: Why the Journey to Build Resilience is Multi-Religious](#)
- [Religions for Peace Multi-Religious Humanitarian Fund](#)